



発行  
日本共産党  
寝屋川市議員団  
072-824-1181  
FAX: 824-7760  
No.3530

寝屋川市議員

**中林かずえ**  
宝町 4-33  
090-3944-8385  
寝屋川市議員

**松尾信次**  
下木田町 12-6  
090-3056-9924  
寝屋川市議員

**西田まさみ**  
石津中町 30-3  
090-9713-3588  
前寝屋川市議員

前寝屋川市議員

**太田とおる**  
高柳 2-49-2  
080-3818-9722

## 日本共産党市会議員団

### 広瀬市長 荒木教育長に申し入れ

大阪・関西万博の「ハーサル」(テストラン)が行われている大阪市此花区夢洲(ゆめしま)の万博会場内で6日、着火により爆発を起す危険がある濃度のメタンガスが検知されました。元消防士で日本共産党の寺本けんた守口市議が持参したガス検知器で、昨年3月に爆発事故が起きた東トイレ付近を測定。

大阪・関西万博の「ハーサル」(テストラン)が行われている大阪市此花区夢洲(ゆめしま)の万博会場内で6日、着火により爆発を起す危険がある濃度のメタンガスが検知されました。元消防士で日本共産党の寺本けんた守口市議が持参したガス検知器で、昨年3月に爆発事故が起きた東トイレ付近を測定。

現場がある夢洲1区は全体が現役の廃棄物処分場で、83本のガス抜き管からメタンガスが1日に約3トン排出されています。(昨年12月の調査)。  
今回の件は、大量のメタンが管以外にも出ており、濃度も刻々と変化していること、対策がきわめて難しい

ことを改めて示しています。  
会場を夢洲にした維新政治と政府の責任、安全に責任を持たず開幕に走る協会の姿勢が問われています。



# 万博会場で爆発濃度ガス検知

## 万全な安全対策を万博協会に求めること

マンホールの穴に検知器のノズルを数センチ入れて測定したところ、着火により爆発を起す最低濃度である5v.o.i%超えが表示されました。

寺本市議は午後4時に消防に通報。消防隊員数人が業務出動で現場に到着してガス濃度を測定し、災害対応に切り替わりました。寺本市議は「本来なら緊急出動で駆けつけ



メタンが検知されたマンホールのふたを開ける消防隊員ら=6日 寺本守口市議のxより



4日に火災があったブラジル館。6日のテストランには、パビリオン前に建築資材が置かれ工事途中の状況でした

### 学校行事としての万博参加は再検討すべき

4月8日、日本共産党市会議員団は、4月6日、大阪・関西万博テストラン会場で爆発の危険がある下限濃度を超えるメタンガスが検出されたことから、広瀬市長と荒木教育長に対し、緊急の申し入れを行いました。申し入れ項目は以下

- 1. メタンガスの発生など、会場が危険な状況にある中、万全な安全対策を万博協会に求めること。
- 2. 安全対策を最優先し、学校行事としての万博への参加は、再検討して、見直しすること。

万博開催直前になっても今回のような危険な状況が改善されないのであれば、学校学年ごとの一律参加はせず、危険な万博への参加は再検討して見直しすべきと求めました。



# 放課後校庭開放事業

## 巡視員の複数体制求める

3月市議会文教生活常任委員会で審議された2025年度の新規施策について主なものを紹介します。

初めに小学校の放課後校庭開放事業です。市内の小学校区には、大きな公園がなく、子どもたちが、校区内の小さな公園で道路にはみ出すようにして遊んでいる姿を見ることがあります。

西田議員の地元の石津小学校も近隣の大きな田井西公園は校区外であるため行くことができず、狭い公園で遊ぶ姿が見られ、子どもたちから「校区に公園を作ってください」と要望を受けていました。今年度より、小学校

の校庭開放を、これまでより期間や時間を拡充して行うことになりました。

放課後に小学校の校庭を開放することで子どもたちの放課後の居場所の充実をはかるとして、平日毎日(夏休みなど長期休業期間中を含む)としています。

【開放場所】  
全市立小学校

【開放時間】  
平日(開校日)  
下校時刻〜午後5時  
または午後5時50分  
・長期休業期間  
午前9時〜午後5時  
または5時50分

【体制】  
各校に1名シルバー人材センターより巡視員を配置し、校門での

チェックを行う。(児童はいったん帰宅し保護者の同意をもらう)  
・1時間に1回校庭を見回る。

今年度より実施される放課後校庭開放事業ですが、これまでより開放される期間や時間が長くなったことは前進面ですが、安全面について議員から指摘がありました。

1校につき一人の巡視員で安全を守ることができると、子どもがけがなど負ったときの対処などどうするのか、雨天時や熱中症警戒アラートの対応は誰がどのように判断するのかなどさまざまな疑問が出されました。



## 災害から市民の命を守る施策の拡充

昨年の能登半島地震を教訓に、災害から市民の命を守るため、飲用に供する災害対策用トイレ設置、災害対策用トイレ環境の整備、災害対策用資機材の充実、消防団装備の充実、強化が行われます。

◎飲用に供する災害対策用井戸の設置  
・すでに小学校のグラウンドに貯水槽のあるところを除き、災害時の飲料水を確保するため、順次井戸を設置していく。

・初年度は5小学校に設置していくため、設計業務委託を行う。

【予算】  
2500万円

◎災害対策用トイレ環境の整備  
・避難所等のトイレ環境の充実をはかるため、想定避難者が発生直後から3日間使用できる凝固剤、便袋を追加配備する。

【予算】  
4987万円

◎災害対策用資機材の充実  
・大規模災害時など、長時間の救出活動に備え、現在備蓄している電動チェーンソーに加え、エンジン式のチェーンソーを全市立小学校に配備する。また、リヤカー、給水コンテナを配備する。

【予算】  
871万円

◎消防団装備の充実・強化  
・火災現場で効率的に消火活動を行い、救助活動をするため、消防団車両に積載する小型動力ポンプ、リヤカー、担架を配備する。

台  
・折り畳みリヤカー31  
台  
・四つ折り足付担架32

【予算】  
430万円



### 議員誌



西田  
まさみ

香里園駅前公衆トイレの設置を求め、昨年、私が、議会できりあげ、地域の皆さんから、1000筆を超える署名が提出がされました。

この声に応え、2025年度の早い時期に香里園東側に公衆トイレが設置される予定です。

これを聞いた地域の方から、「願いがなくなってきた」「早くできてほしい」などの声が聞かれています。

先日香里園駅の西側で宣伝していると、ベンチに座って私の訴えを聞いてくださった方が、拍手してくださったので、「ありがとうございます」と声をかけると、「公衆

トイレができると言っていたから、前にも聞いていたので良かったなと思って」と言ってくれました。

昨年、香里園駅の東側で、私が宣伝をしていたとき、駅前のスパーで警備をされていた方から、「あなた議員さんでしょ、それから香里園駅前に公衆トイレを作ってください、高齢の方がトイレがなくて困っておられるのです」と要望されたことから今回の取り組みが始まりました。

この要望が地域の皆さんの賛同を得て、地域の皆さんと一緒に取り組んだことで実現につながったことに、地域の皆さんの力の大きさを実感しました。